



## 「茨城県認知症を知る月間」事業 120名の高校生・教師が認知症の理解を深めます 本市初！高校生へ認知症サポーター養成講座を開催（9/21）

9月は「茨城県認知証を知る月間」です。

龍ケ崎市では、この月間を通し、認知症への理解を深める普及・啓発の取り組みのひとつとして、愛国学園大学附属龍ケ崎高等学校（倉持正男 校長）の生徒・教師約120名を対象に『認知症サポーター養成講座』を平成30年9月21日（金）に実施します。

学校単位で高校生に対しての講座実施は本市では初めての取り組みです。

この講座は、国（厚生労働省）が進める「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」に基づき実施するものです。

「認知症サポーター」は、市町村が実施する『認知症サポーター養成講座』を受講した人が、認知症への理解を深め、友人などに知識を伝えたり、認知症の方や家族を温かく見守る支援者になる取り組みです。1時間程度の講座を受講後には、認知症サポーターとしての証である「認知症サポーター証」及び「オレンジリング」（写真）を配布します。

なお、本市では、これまでも各種団体、企業並びに医療機関等を対象に養成講座を実施。延べ3,361名が「認知症サポーター」になっています。



■日 時	平成30年9月21日（金） 午後2時から午後3時30分まで
■場 所	愛国学園大学附属龍ケ崎高等学校 体育館（所在地：龍ケ崎市若柴町2747）
■主 催	龍ケ崎市
■参加者	愛国学園大学附属龍ケ崎高等学校 生徒・教師 約120名（予定）

担当課	龍ケ崎市 健康づくり推進部 健幸長寿課 地域包括支援センター 担当者：牧野・古谷（まきの・ふるや） 連絡先：0297-62-8686（直通）
-----	--